

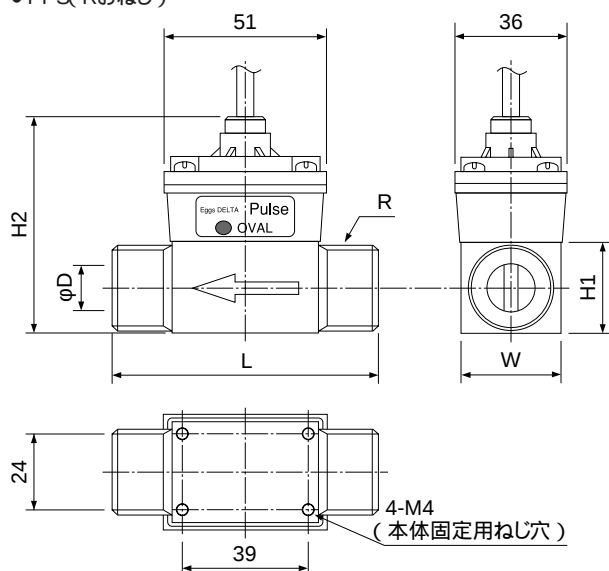
■ 渦式フローモニター(気体用)

1-6237-01 ~ 04

■ 外形寸法図

(単位 : mm)

● PPS(Rおねじ)



呼び径	ϕD	R	L	W	H1	H2	概算 質量g
4	8.5	$R \frac{3}{8}$	80	32	29	68	270
8	13	$R \frac{1}{2}$	80	32	29	68	270
15	14	$R \frac{3}{4}$	85	32	29	68	280
25	24.5	$R 1 \frac{1}{4}$	120	46	46	85	410

■ 各部の名称と機能

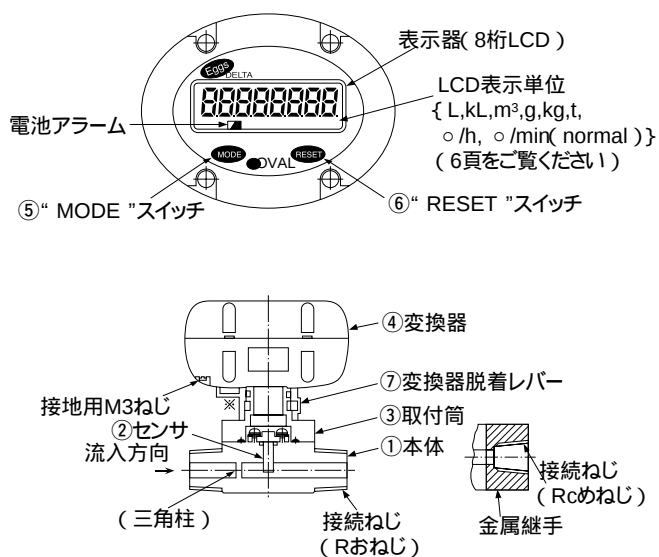
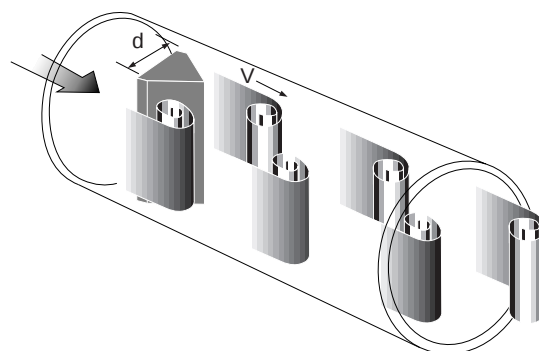


Fig.4.1

■ カルマン渦式フローモニターの計測原理



流れの中に置かれた物体の下流には、一定条件で左右交互に規則正しい渦列が発生します。この渦はカルマン渦と呼ばれ、その発生周波数を f 、絞り部分の流速を v 、渦発生体の幅を d とすると、 $f=st \cdot v/d$ の関係があります。

- ① 本体
測定管と渦発生体(三角柱)で構成されています。計測流体が流れ、三角柱によりカルマン渦を発生させます。
- ② センサ
圧電素子が内蔵されたセンサです。
カルマン渦により振動し、渦を圧電素子の電荷変化として検出します。
- ③ 取付筒
本体と変換器を接続します。
- ④ 変換器
センサからの電荷変化を流量信号に変換し、8桁LCD流量表示器により瞬時流量、積算流量がモニターできます。
外部出力としてアラーム出力、パルス出力、またはアナログ出力が選択できます。
なお、変換器の読み取り向きは任意の方向に回転することができます。
- ⑤ “ MODE ”スイッチ
流量表示を「累積積算量」→「毎時瞬時流量」→「毎分瞬時流量」→「リセット可能積算」の順に切り替えることができます。
- ⑥ “ RESET ”スイッチ
「リセット可能積算」をゼロにリセットします。
- ⑦ 変換器脱着レバー
レバーを引くことにより変換器を脱着することができます。
- ⑧ 切替マグネットホルダ (印部)
“ MODE / REET ”スイッチの切替マグネットが付属します。

⚠ < 注意 > 接触不良などの原因になりますので保守時以外は触らないでください。

